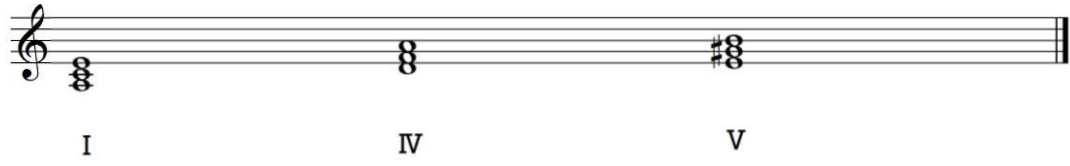


中学校音楽 解答例

	(1)	サムホールにわずかな隙間をつくる運指で、高音を演奏する際に用いる。			3点			
	(2)	一曲がいくつかの段（部分）からなる、歌の入らない器楽曲。			3点			
1	(3)	読み方：アッラルガンド	意味：強くしながらだんだん遅く		完全解答 3点			
	(4)	読み方：アンダンテ	意味：ゆっくり歩くような速さで		完全解答 3点			
	(5)				完全解答 3点			
2	(1)	シューベルト			2点			
	(2)				4点			
3	(1)	①	Dm	②	G	③	C7	各3点
	(2)	長胴太鼓			2点			
	(3)	①	中指	②	親指	③	薬指	各3点
4								4点

5	(1)	作詞者名 武島羽衣	作曲者名 滝廉太郎	各2点					
	(2)	①	最初の4小節がフォルテなのは、満開の桜が美しい織物のように見えるという歌詞から、目の前に広がる風景を表現するため。おぼろ月はぼんやりと光って見える月の様子を表すためにピアノにしている。		3点				
		②	歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解させ、曲にふさわしい歌唱表現になるよう、実際に歌って試しながら指導する。その際、単にフォルテは強く、ピアノは弱くというだけにならないよう留意する。		3点				
6	(1)	①	感情	②	文化	③	質的	各3点	
		④	心	⑤	存在				
	(2)	変声に伴う不安や羞恥心をもつことがないよう配慮する。 変声中の生徒に対しては、無理のない声域や声量で歌わせるよう留意する。						3点	
7	(1)	①	「俳句に旋律をつける」という課題を設定する。 条件は、民謡音階・4分の4拍子・4小節以上で、言葉の抑揚を生かした旋律にすること。					3点	
		②	<ul style="list-style-type: none"> 複数の参考作品を例示し、「まとまりがある」と感じるものと「まとまりがない」と感じるものを比較し、工夫点を見出す。 第1学年の創作の学習の経験などを生かして、生徒の実態に応じた学習過程を工夫し、生徒が創作表現を創意工夫する楽しさや喜びを実感できるようにする。 					3点	
		③	創作分野における技能は、旋律や音楽をつくるために必要な技能であり、つくった作品を演奏することができる技能ではないことに留意する。					3点	
	(2)	①	ケチャ	インドネシア	ホーミー	モンゴル	完全解答 3点		
		②	曲名 八木節					完全解答	
			理由 声の出し方や母音を伸ばして装飾する歌い方などの特徴がわかりやすく、アジア地域の諸民族の音楽と比較しやすいから。					4点	
		③	題材の学習目標 音楽の特徴を聴き取り、それぞれのよさや美しさを味わうことができる。					3点	
	1時間目 「ケチャ」、「ホーミー」、「八木節」を鑑賞し、気付いたことや感じ取ったことを学級全体で意見交換する。 それぞれの音楽を真似して実際に声に出して体験し、発声や歌い方の違いなどを感じ取る。					4点			
	2時間目 それぞれの地域の暮らしや人々の様子、音楽の歴史などを学ぶ。 2時間目に学んだことと1時間目に感じ取ったことをもとに、それぞれの音楽のよさや美しさを自分の言葉でまとめる。					4点			